

## 「パウロの森くらぶ」設立趣意書

パウロの森は、北高尾山地の端に位置し、旧来里山であった自然豊かな学校林で 23ha もの広大な面積を有しています。聖パウロ学園高等学校から、荒れた学校林を整備し体験学習の場としたいとの要請が森林インストラクター東京会（以下 FIT）にあり、当地で 2004 年 4 月から FIT メンバーにより森林整備活動と森林環境教育活動が始まりました。

パウロの森は 2007 年にはモデル学校林に認定され、活動助成によって森林施業の道具も揃え、この森でのボランティア活動である「自主整備活動」が大きく前進しました。その結果、アオキなどが繁茂した暗い森から明るい場所が開けてみんなが集まれる広場ができ、森を安全に周回できるようになって、教育に相応しいフィールドになりました。

こうした森づくりと共に、この森での聖パウロ学園生徒を対象とした森林環境教育活動も定着し、間伐、道づくりなどの「森づくり体験学習」、キノコの栽培、草木染め、炭焼きなどの「里山文化学習」、森の踏破、森の自然観察などの「環境学習」で構成された 20 を数えるプログラム活動となりました。このような教育活動は 2004 年以来継続して聖パウロ学園の全日制、通信制の延 5,000 名を超える生徒が受講しました。諸先輩のおかげで、この間大きな事故もなく、安全第一の考えと着実に蓄積されたノウハウは我々の大切な宝です。

こうした活動は、2013 年で節目となる 10 年目を迎えることとなります。これを契機に、地域に根差したモデル学校林としての使命を追求するために、聖パウロ学園高等学校の積極的な協力のもと、今まで蓄積されたノウハウを活用して、パウロの森を学園の高校生はもとより、さらに広く近隣の小中学生たちにも開放して、パウロの森・森林環境教育を拡大発展させることとしました。

これからの活動は今まで以上に仲間の力を必要とします。そのために、FIT 事業部と連携し、パウロの森の森林整備活動および森林環境教育活動の趣旨に賛同する仲間の結集を図り、広く一般市民も含めた任意団体「パウロの森くらぶ」を設立します。

今後の活動としては、パウロの森の豊かな自然を生かし「スギ、ヒノキの人工林」「コナラ、クヌギの雑木林」のようにエリアをいくつかに分け、森そのものを学べる学習効果の高い森づくりをします。この開発構想のもと、安全第一の視点から小中学生たちに向けた重点エリアとして「クラフト広場」「カブトムシの森」などを開発整備していきます。また、新たなプログラムも導入し多彩にして、モデル学校林パウロの森で多くの小中高生が、自然体験の学習や遊びによって、森そのものやそこに住む生き物、生態系の仕組み、林業や里山の知恵といった自然と人との関わりを学びます。こうしたことによって、自然への感性や創造性が養われるという教育効果は無論、父兄や市民の参加も含めた地域及び社会への貢献も目指していきます。

このような活動趣旨に賛同いただき、本くらぶに対するご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2013 年 3 月 16 日 「パウロの森くらぶ」 発起人代表 長岡俊夫  
発起人一同